

# 臨時災害放送局用機器の概要

送信部諸元(超短波帯(FM)送信機)	
外形重量	幅505mm高302mm奥行655mm 29kg
送信可能周波数	76.1～89.9MHz
送信出力	10W～100W
電波型式	F3E及びF8E(モノラル及びステレオ)
消費電力	最大270VA(空冷ファン冷却)
空中線系	ダイポールアンテナ、伸縮マスト(1.3m～6m)、同軸ケーブル20m、ダミー抵抗(連続使用120W 自然空冷式)
音声調整装置諸元	
外形重量	幅505mm高302mm奥行655mm 28kg
音声ミキサ	(音声リミッタ付き) CDプレーヤー、USBポート、5chミキシング入力端子
付属装置	マイクロフォン(スタンド付)、ヘッドフォン、電源ケーブル(ドラム30m)等

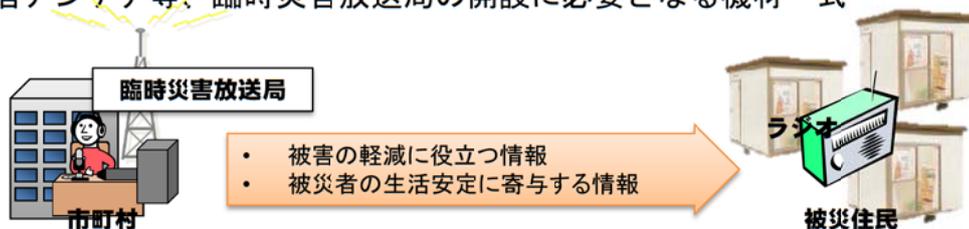


## 臨時災害放送局開設の円滑化に向けた総務省の取組

- ・ 東日本大震災に際しては、被害情報、避難情報等の提供手段として、各自治体が臨時災害放送局を開設しており、給水、炊き出し等の救援情報等を提供するなど被災者の生活安定に向けた取り組みとして大きな役割を果たした。
- ・ 総務省では、平成26年度より、地方総合通信局に、臨時災害放送局用の送信機等を配備し、平時においては自治体が行う送信点調査や運用訓練に活用し、災害時には自治体に対して貸し出すことにより、災害時における迅速な開設を図るための取り組みを行っている。

(配備機器)

送信機、送信アンテナ等、臨時災害放送局の開設に必要な機材一式



### 課題

- ・ 機器調達方法の検討
- ・ 設置場所の検討
- ・ ノウハウの共有化

### 対策

### 機器を総合通信局に配備

- ・ 平時は自治体における送信点調査、運用訓練等に活用
- ・ 災害時は自治体に貸出

災害時における臨時災害放送局の開設の円滑化